

平成30年度 大橋川改修事業に係る環境モニタリング協議会 議事録

日 時 平成30年8月30日（木）14:00～16:00

場 所 松江市総合文化センター プラバホール 大会議室

■開会挨拶

開催にあたり、国土交通省出雲河川事務所長より挨拶。

■委員紹介

協議会委員の紹介。（委員紹介は、出席者名簿及び席次表により各委員の紹介とした。）

■会長挨拶

- 平成30年7月に発生した西日本豪雨においては甚大な被害が出た。昨今発生している豪雨等による災害を未然に防ぐためには、早急にインフラ整備を進めていく必要がある。
- 大橋川においては、整備によって河川の安全度を高めながら環境にも配慮した川づくりが求められおり、時間的猶予はあまりない状況である。
- 国土の安全を高めるため、また大橋川の環境保全を行っていくために委員の皆様の知恵を出していただきたい。

■協議会規約について

※説明資料：資料－1

事務局より、協議会規約の変更箇所について説明。

（規約本文の変更箇所なし。学識委員及び行政委員の所属欄の変更を説明。）

■広域モニタリング・環境監視について

※説明資料：資料－2

事務局より、広域モニタリング・環境監視について説明。

【清家 委員】

- 自動観測においてデータの欠測値が多い。計測機器の更新についても検討し、出来る限り欠測がないようにしてもらいたい。

【事務局】

- ◆今後データの欠測がないよう、計測機器の更新についても検討し進めていく。

【北村 委員】

- 地下水について、塩分濃度の測定結果の概要を説明してほしい。

【事務局】

- ◆一部の地点において、近年地下水の塩分濃度が上昇傾向にあるが、原因については特定できていない。継続して観測を行い注視していき、今後地下水の塩分濃度が大きく変化するようであれば協議会にて報告する。

【倉田 委員】

- 河道掘削によって大橋川の流動が変化した場合、宍道湖の塩分濃度が上昇する可能性がある。
- 現状変化幅については、最大値・最小値が用いられているが、現状変化幅以内の塩分濃度の変化であっても工事影響が潜在化する可能性がある。
- 河道掘削による宍道湖への塩分影響を把握するためには、宍道湖への塩分フラックスを確認するほうが良いと考える。

【事務局】

- ◆現在、塩分フラックスについてはデータの整理をして検討しているところであり、今後相談させていただく。

■工事モニタリングについて

※説明資料：資料－３

事務局より、工事モニタリングについて説明。

【事務局】

- ◆ヨシ、コアマモについて今後の移植先の面積確保が難しい。護岸整備した前面にヨシやコアマモの生育基盤を整備するのと併せて、新たな移植地を今後検討する。

【國井 委員】

- これまで保全措置を行っているヨシ、コアマモ及びオオクグについては、移植がうまくいっており、今後も同じ手法で移植すれば定着するだろう。
- ただし、今後工事を進めるにあたって、移植地が無くなってきている。以前の委員会で示されている中の島は、昔はヨシ原だったと思うので、傾斜を付けてヨシが生えればコアマモも前面に生えてくる。良い候補地である。

【倉田 委員】

- 保全措置としては、ヨシやコアマモを元の場所に戻すことが基本であり、それが実施できない場合、別の場所へ移植するというのが次善の策であり、ヨシやコアマモの消失面積と生育基盤の整備面積の収支について、整理した上で検討して頂きたい。
- 全体の面積を合わせることも重要だが、保全対象の消失面積をすべて代償する必要はないと思う。保全対象の生育位置やその機能等を総合的に考えた上で、移植地を検討する必要があると思う。

【事務局】

- ◆ご指摘の内容を踏まえ、移植地の検討を進める。

【道上 会長】

- ヨシ、コアマモが近くに移植出来れば一番良いが、治水上の問題などでうまくいかない場合、他所へ持って行くというのが事務局の案である。既存より少ない面積でいいかどうかについては、当初から消失した面積はできるだけ回復させる計画としているため、面積など詳細を明らかにし、事務局で整理検討を行うこと。
移植場所や面積等を勘案し、専門家の意見を聞いて保全措置の原案を作成し、協議会で議論すればいいのではないか。

【中村 委員】

- これまでの10年間、大橋川では様々な環境調査が行われ、十分データが集まったものもある。
今後工事が本格的に始まる中で、今後の調査を見直し、整理する時期にきている。
- シジミや魚介類への工事影響についても、今後考慮してほしい。

【事務局】

- ◆今回の協議会で提示した資料については、協議会終了後、速やかに出雲河川事務所のウェブサイトで公開する。
- ◆次回の協議会については、今年度冬頃を目途に開催予定である。